

**製品名:** リン酸化サイクリン B1 (Ser126) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号:** AMRe04112

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 48 kDa; Observed MW: 55 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CCNB1
別名	CCNB1; CCNB; G2/mitotic-specific cyclin-B1
遺伝子 ID	891
SwissProt ID	P14635
免疫原	標的タンパク質の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

**背景**

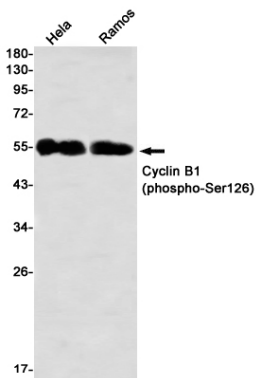
G2/M 期（有糸分裂）移行期における細胞周期の制御に必須。高度に保存されたサイクリンファミリーの一員であり、そのメンバー

は細胞周期を通してタンパク質存在量の劇的な周期性を持つことを特徴としています。サイクリンは CDK キナーゼの調節因子として機能します。

## 研究分野

細胞生物学

## 画像データ



ホスホサイクリン B1 (Ser126) 抗体を使用した、Hela、Ramos 溶解物中のサイクリン B1 (ホスホセリン 126) のウエスタンブロット分析。